

して事を争はんとするは他意あらざるして其の動機が組合員の闘争意識を鼓吹せし
か爲らざるやと非難を加えてゐる。

因に自治會の京浜支部は大正十五年三月組織せしれ會費約四百五十名あり、
その中心勢力は自治會として右翼系派の掌握する処ありしと幸議中途より闘争精
神に富む左翼系派に依りて指導せらるゝに至つた。如く見へた。

左記 歎 願書

歎 願書提出理由

歐洲大戰後に於ける我國の一般的産業は漸次不振に陥りつゝある。近來その復活の曙光を
見ると雖もその根本的回復に至つては甚だ容易あらざるものがある。此の場合産業労働
者の生活は極度の脅威と壓迫を蒙るゝことを常則としてゐる。茲に於てかゝる一般的経済
事情に逆行して益々發展過程の好況に入りつゝある特種産業ありと云ふ巧に一般不況
の如く装ふて莫大の利益を藏して何等従業員の待遇を顧みざるものあるは吾等の遺憾
とする所である。

去月連信省が金五十五余の電氣事業會社に警告を發しその暴利を取締りたるは
近來稀に見る快事にして吾等は衷心より賛意を表するものである。

吾が京浜電鉄會社も彼の大震災後東京市内人口の郊外移住に依り京浜間の異常なる
發展を見よと至れる爲め、その収益は決算期を重ねるに從つて果腹してあるは眞に一般財
界の不況に超然として黄金の夜に浸りつゝある好況である。この京浜電鉄會社の内情を最
確證に立証する客觀的條件は京浜間の發展状況を瞥すると、直ちに諒解せらるゝので
ある。

斯くの如く京浜地方の發展と京浜電鉄會社の好況とは同一歩調を以て進展して、おれ共
に一人取残されたるものは従業員八百の生活問題である。それは京浜地方の發展に従ひ地
價及家賃等の物資の暴騰、激甚とあり延びて従業員的生活を著しく脅威せしむるに至りし事
実は歴然として立証されてゐる。この脅威は遂に八月悲痛なる歎願條項として會社に提出さ
れたのである。然るに当時京浜電鉄會社は業務不振を理由に單なる少局部の改善を計
りたるのみにて何等歎願條項の核心に觸れたるものを見ふかつたのである。爲に我等の日常
生活は依然として極度の不安と脅威に悩みつゝあるものである。甚だしかりし大正十五年終に暮
れんとするに際し我等は茲に如上の理由に基き生活の不安を緩和すべく最少限度の歎願
條項を提出する所以のゆゑである。庶幾は我等の哀情を諒とせられんことを要望す。

大正十五年十二月二十一日